



“無限の水市場”に取り組むために

深刻な中国水問題の本質と取り組む責任者のリスクマネジメント

— 水需要の実態、水質汚染、民営化のビジネスリスク、4つの水投資グループ、各社の動向等 —

講師

グローバルウォーター・ジャパン 代表 **吉村 和就** (国連テクニカルアドバイザー)

チャイナ・ウォーター・リサーチ 代表 **内藤 康行** (敬称略・講義順)

開催日時 ▶ 2007年4月18日(水)

午前10時～12時10分(開場:午前9時30分)

会場 ▶ JPI カンファレンス スクエア
〈会場アクセス http://www.jpi.co.jp/map_c.html〉

東京都千代田区有楽町1-2-14 紫ビル8階 ☎ 03-3508-9070
(帝国ホテルタワー正面、日生劇場並び、東京宝塚劇場隣接、JRガード近く)

参加費 ▶ 早割参加費(2007年3月26日までのお申込み)
1名 24,500円(資料代・消費税込)

通常参加費(2007年3月27日以降のお申込み)
1名 29,500円(資料代・消費税込)

*事前登録なしに当日参加の方は、開催要領等変更の有無を上記にお問い合わせください。

第一部

中国の水問題とビジネスリスク

10:00～11:00 講師 吉村 和就

講義概要

中国の水問題を「量的な不足」と「質的な不足」という2つの側面から捉えてみたい。量的な不足は、急激な経済発展に伴う水需要の飛躍的な増加、質的な不足は激しい水質汚染の結果である。

今回は中国の水資源量を踏まえ、急激に都市化を背景に増加する給水量や排水量(下水、廃水)の実態、その対策に迫る。また上下水道民営化に多くの外資系企業が参画しているが、そのビジネスリスクについて述べる。

講義項目

1. 中国の水不足問題 — 人口と水需要 —
2. 水資源量の偏在 — 降雨量と都市の水資源量 —
3. 水需要の実態 (1) 水使用の現状 (2) 都市化と水需要の増大 (3) 給水量と廃水量 (4) 地下水の問題
4. 水質汚染 — 水質汚染被害 —
5. 上下水道民営化のビジネスリスク
6. 関連質疑応答
7. 名刺交換 講師及び参加者間での名刺交換会を実施いたします

〔略歴〕

1973年 荏原インフィルコ社 入社(営業、企画開発)
株式会社 荏原製作所本社 経営企画室部長
1998年 国連本部経済社会局(NY市)・環境審議官
2001年 荏原製作所へ復職、経営企画室部長
2005年 グローバルウォーター・ジャパン設立

社外活動

1. 国連テクニカルアドバイザー(環境部門)
2. ISO/TC224 上水道部会長、日本代表
3. 日本経団連・地球環境部会温暖化対策委員
4. 文部科学省・科学技術動向研究センター専門委員
5. (財)造水促進センター 技術専門委員
6. (社)日本水道協会 特別会員
7. 千葉工業大学・非常勤講師

第二部

中国の水ビジネス市場 — 中国企業と欧米企業そして日本企業は? —

11:10～12:10 講師 内藤 康行

講義概要

中国の水ビジネス市場を舞台に日本企業群、中国企業及び欧米・アジア企業群の水事業の捉え方を紹介する。水事業の運営サービスをビジネスモデルとする中・欧州勢、設備と技術サービスをビジネスモデルとする中・日・米勢の動向。伝わり難い日本企業各社の現状にもスポットを当ててみた。日本が誇る円借案件も2件紹介する。

講義項目

1. 中国の水ビジネス市場 — 現在の潮流 —
2. 中国市場をリードする4つの水投資グループ
(1) 各投資グループ内企業の動向
(2) 中国を代表するコンサルと法律事務所
(3) 中国の水ビジネス市場の領域
3. 日本企業の活動 — 各社の動きと外国勢 —
4. 中国の水処理産業
5. J B I Cの動向 — 円借2案件について —
6. おわりに — 中国企業の戦略 —
7. 関連質疑応答
8. 名刺交換 講師及び参加者間での名刺交換会を実施いたします

〔略歴〕

1979年 丸紅 エネルギー・化学プラント 入社
1983年 日揮株式会社へ転職 国際事業本部(中国担当)
1999年 株式会社荏原製作所へ転職 中国本部
2001年 ヴェオリア・ウォーター・ジャパンへ転職 営業担当
2004年 株式会社 ウェルシエへ転職 中国担当
2007年 チャイナ・ウォーター・リサーチ 設立